

三田市民病院の **イマ** NOW

新統合病院開院にあたり「三田市民病院は近々なくなるの？」など、ご心配の声が寄せられていますが、ご安心ください。新統合病院開院までの間、三田市民病院は引き続き良質な医療サービスを提供します。現在、救急外来の強化や新統合病院へ円滑に移行するため、8年4月から済生会兵庫県病院による指定管理者制度の導入など、さまざまな取り組みを行っています。今号は力を入れている「救急外来」についてご紹介します。

「断らない救急」を目指して

三田市民病院では、地域の診療所や病院と連携し、手術・検査・緊急入院が必要な患者さんを受け入れる二次救急*を中心に救急医療を行っています。事故によるけがや急な体調の悪化など、重い症状の患者さんを一人でも多く受け入れるため、「断らない救急」を合言葉に全力で取り組んでいます。

救急現場では、専門外の症例や他の重症患者の対応中など、やむを得ず診療をお断りしなければならない場合もあります。それでも現在、**受け入れ件数は着実に増加(右グラフ)**しています。

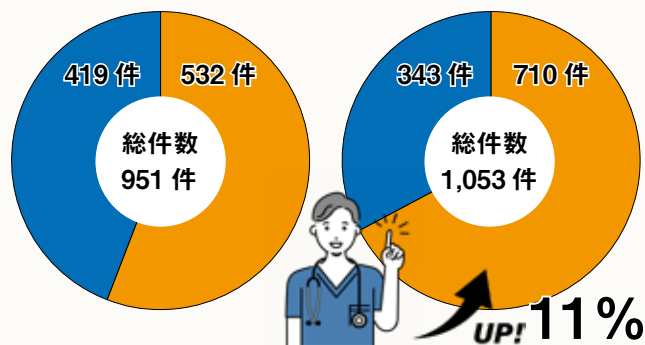
救急医療を円滑に行うためには、市民の皆さんのご協力も欠かせません。軽症の場合や日常的な健康相談は、まず身近なかかりつけ医を受診していただくことで、重症患者の命を守る体制がより強固になります。

三田市消防本部による搬送先

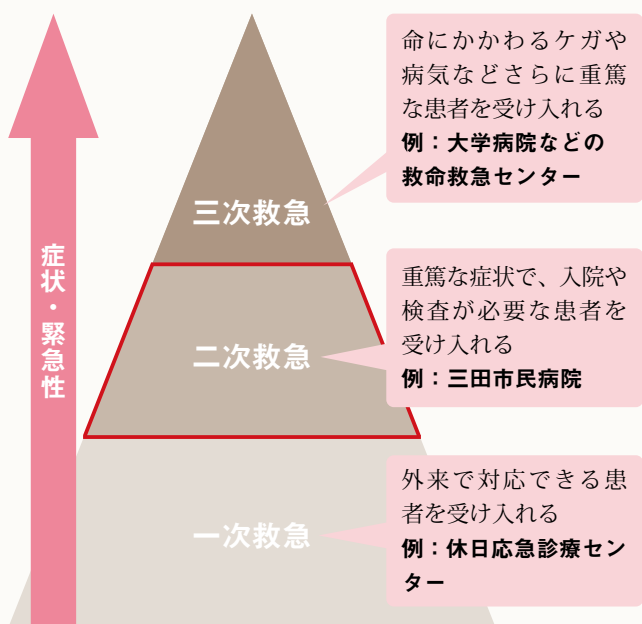
■ 三田市民病院
■ 市外・他の医療機関

6年4月～6月

7年4月～6月



* 3つに分かれる救急医療



救急外来の体制



いつでも受け入れ可能

夜間や休日など、通常の診療時間外に急な病気やケガに見舞われた際に、いつでも専門的な医療を受けることができます。

豊富な医療スタッフ

- ・医師：4人～6人 (内科系、外科系、産婦人科、脳神経外科)
- ・看護師：3人
- ・薬剤師、放射線技師、検査技師：3人

市民病院事務局総務課 (565-8605 FAX 565-8011)